



Close up だて



— 大滝の美しさを 知ってもらいたい —

大滝区観光振興協議会委員
くほみっこ
久保美津子さん
(大滝区本町)



空から見た大滝区

平 成18年3月、旧伊達市と旧大滝村が合併し、新伊達市として現在の姿に生まれ変わりました。
そして平成25年、大滝区の地域振興の課題を解決するため、市は大滝区観光振興協議会を設立。
この協議会では、行政・市民・観光関係団体が力を合わせ、観光を切り口にした地域活性化のため、のさまざまな取り組みが行われています。
「大滝の魅力は豊かな自然。これをいかしたイベントを開催して、大滝の美しさを皆さんに知ってもらいたい」と話してくれたのが協議会の設立当初から委員として活動している久保美津子さんです。
鹿兒島県出身の久保さんは、昭和52年、結婚を機に旧大滝村に移住。北海道は地平線が見られるというイメージを持っていたので、初めて村を訪れときは、山々に囲



上野川で「おおたきいきものさがし」

まれていて驚いたそう。
「でも、このくらい田舎が好き。移住者が多くて他地域の方や海外の方と交流することが身近な感覚でできる」と大滝区の魅力を話す久保さんには自然とやわらかな笑顔が溢れています。その一方で、「若い人が減って、活気がなくなってきた。温泉は有名だけど、わかりやすい観光地ではない。だから気軽に楽しめる観光の場を作りたい」とも。
9月6日(日)には、ノルディックウォーキングコース内を散策しながら植物や昆虫を観察するイベント「おおたきいきものさがし」を協議会が主催し開催。
「何度も協議を重ね、やっと実現できた。これは第一歩。大滝の魅力をいかしたイベントを企画して伊達を盛り上げていきたい」と、さらなる意気込みを話してくれました。

表紙のはなし



東小学校で行われた防災訓練。めったにお目にかかれない給水車の登場に、児童たちのやる気も上がります。非常用飲料水袋に水を入れると6kgにもなりますが、「軽い軽い」と友達と力自慢をし合っている姿も見られました。
この訓練が、普段の家庭での備えやとるべき行動を改めて確認するよい機会になったようです。

楽 画 記

■ワイラジで放送されている「だてコミュ」。9月は企画課が担当だったので、初めてラジオの収録に挑みました。いつも他の職員が収録しているのを取材でお邪魔していたので、雰囲気はわかっていました。しかし、いざ自分の番になると緊張から笑い止まりません。収録を終えるころには、どっと笑い疲れていました。(た)
■今月号はイベントのお知らせが多く秋の訪れを感じました。秋といえばスポーツの秋、食欲の秋、そして読書の秋。そういえば、しばらく図書館に行っていない私。伊達の図書館はインターネットで検索や予約ができるうえに、室蘭・登別の蔵書も借りられるのでとても便利！秋の夜長のお供を借りに、また通おうと思います。(や)
■楽画記のネタはいつも悩みどころで、今回は特に何も浮かばず。知り合いの方に相談したところ「ホットなネタで！」と。今、ホットなネタが…う〜ん。と悩んでいるうち、文字数が増えていきます。この勢いで3行を超えるといいなあと文章を増やし、やった！3行到達。これ、怒られるかも？(と)